

令和4年度 第2回野洲市学童保育所運営協議会 会議録

- I 日 時 令和5年1月19日(木) 19:00~20:35
- II 場 所 中主防災コミュニティセンター 研修室A・B
- III 出席者 〈運営協議会委員〉
太田 のぞみ、石嶋 真理子、南 奈津美、茂森 悦子、太田 笑子
安田 春美
(以上保護者会会長)
山路 和央(市自治連合会)、浦谷 ふみ子(市民生委員児童委員協議会)
田中 源吾(市健康福祉部政策監)、水谷 威彦(社会福祉協議会事務局長)
上田 眞弓、西村 幸雄、梶谷 明美、杉本 邦子、立田 裕子、太田 千鶴
(以上学童保育所所長)
〈事務局〉
益田 研(学童保育課課長)
〈市健康福祉部〉
岡本 明子(こども課課長補佐)、今井 優希(こども課主事)
- IV 欠席者 奥野 晃彰

【内容】

- 1 開会
 - 2 運営協議会会長あいさつ(山路会長)
 - 3 報告事項
 - (1) 令和5年度 野洲市こどもの家(学童保育所)入所申請状況について
令和5年度 入所申請期間 11/9~12 と 12/8~10 合計7日間(土曜2日含む)
入所申請者数 1,128件(前年比+1名)
コロナ禍より、事後受付(郵送等)10件を含め、最終1,138名の申請受付
- 資料：令和5年度野洲市こどもの家入所申請状況(令和5年1月10日現在)
- ・縦に、学年別 横に学区別で、それぞれ男女と保育種類別に人数で表している。
 - ・学年別では、新1年生の申請が、238名 前年よりやや少ないも引き続き200名を超える申請である。
 - ・他学年では、2~5年がすべて前年比増 継続して利用率が高まっている。
 - ・6年生は減少。要因として考えられるのは、篠原、野洲小学校区で今年度6年生の利用率が平均より高く、その年代が卒業するのが影響していると考えられる。
 - ・学区別では、野洲、篠原学区を除き、前年より増加している。
野洲・篠原については、説明通り、6年生の利用減少が影響していると考えられる。
 - ・北野学区での利用数が昨年に引き続き大幅に増加したことで、来年度は、6学区の中で利用児童数が、野洲学区を抜いて一番多くなる見込みである。
 - ・令和4年4月1日(今年度スタート時)との比較では、合計で35名増加。
但し、今後例年通り、就労状況等の変更などの理由により、辞退される方が出ることが予想される。

資料：野洲市こどもの家「土曜保育」申請状況（令和5年1月10日現在）

- ・1,138名の入所申請児童の内「土曜日」の利用申請された児童数は、71名となる。
- ・「土曜保育」については、通常保育とは別に、市内全学区を対象に「北野学童保育所」の施設で合同保育を実施している。
- ・平成30年からスタートして、5年目迎え、少しずつではあるが、利用者数も増加しており、平成30年度36名であったことから、5年間で倍増したことになる。
- ・6学区全てから利用申請があり、また全学年での利用申請もある。
- ・令和5年度は、第1日目が4月1日と通常保育前に「土曜保育」が始まることから、十分準備して安全な保育が提供できるよう努める。

資料：在籍児童の推移

- ・平成30年と令和4年との対比（5年間）
- ・5年間で、市内の小学生は103減少する中、学童保育所利用児童は、逆に103名増加
- ・小学生の内、学童保育所を利用される割合（在籍率）も5年間で約5%増加している。
- ・少子化の流れの中、児童数が徐々に減少する中、学童保育所は利用率が上回っていることより、利用児童が増加している。

今年令和4年度の学童保育所別の在籍児童数を5月から12月に分けて、月別に表示しており、昨年（令和3年度）同月での比較をしている。

- ・昨年度との比較にて全ての月で在籍児童が増加している。
合計（平均）月当たり70人増
- ・学童保育所の基本定員が40名から50名であるところから1か所以上の児童数の増加となっている。
- ・北野学区は、既存施設の定員以上の受入をしていることより、第1～第4の既存施設に加え、小学校余裕教室を利用して、分割保育を実施している。

委員

北野学童保育所は、施設定員が200名とっていましたが、定員合計が320名になっていることについて説明していただけますか。

事務局

北野学童保育所の定員については、既存施設の第1から第4までそれぞれ50名の定員で合計200名。

加えて現在利用している小学校の第1.2音楽室が定員として120名。

小学校施設であることより、定員については、120名を4で割って30名を、既存施設に加え、それぞれ定員80名の合計320名としている。

(2) 野洲市こどもの家（学童保育所）の夏休み昼食導入の結果について

今年、試行的に、夏休み8月に3回「昼食提供」を行いましたので、結果を報告する。

提供日時：8月1日、8日、22日（月曜日）

（8月8日については、弁当メニューの変更有）

- ・曜日別、学童保育所別に、ご注文数を一覧にしている。
- ・下段に、学区別、平均個数と昼食の利用率を一覧にしている。

結果として、

学区により、多少差はあるが、合計で、平均1日322食 利用率として約30%

今年度は、初めての取り組みより、

- ・案内が直前であったこと
- ・注文や代金支払いの方法

・コロナ禍 など、保護者の方には、ご負担をおかけした。

利用いただいた様子から、概ね提供させていただいた昼食については、良い感想をいただいている。

今後は、結果も踏まえ、一定需要があるところより、継続して取り組んでいくことと保護者の皆様や現場の指導員の負担軽減も図れるよう改善に努めていく。

令和5年度「昼食提供」の詳細については、年度初めには、提供できるよう準備をしていくのでご協力をお願いする。

委員

外部から発注の弁当についての質問

- ① 食べ残しがあったどうか、食べ残しの処分方法は。
- ② 負担軽減策の具体的な方法は、現場では、自宅からの弁当と注文弁当が混在して提供や管理が大変であったのかと思われるが。
- ③ 給食センター利用による給食提供は。

事務局

- ① 食べ残しについては、食べ残しは容器とともに持ち帰る方法で対応させていただいた。弁当の量については、少し足りないとの感想もいただいている。
今回弁当提供については、弁当種類の写真とともにアレルギー表示を加えて紹介させていただいたが、今回は弁当の量、カロリー表示についても検討していきたいと考えている。
- ② 負担軽減については、まず保護者の方には、事前に一括注文していただくなどご協力をいただいた点、また、指導員については、注文の受付と弁当の提供をしてもらった。
弁当申込名簿については、一覧にして提供させていただいたが、当日の確認も含め負担であったと考える。
但し、安全に確実に提供するための方法であり、協力をお願いしている。
今後は、結果も踏まえ、少しでもスムーズに提供できるよう検討していく。
- ③ 給食センター利用による給食提供については、以前から協議してきましたが、期間限定であること、また提供数が不確定なことなどに加え、給食を保管する施設が学童保育所にはないことなどより、難しいとの回答を得ています。

委員

給食センターの給食が配送できないかという質問に対して補足します。

給食センターでは、普段市内の小学校等へ給食を提供しておりますので、量的には、対応できるのですが、夏休みに集中して機器メンテナンスや保守点検、修繕を行っております。また、お盆期間の10日間については、こども園や幼稚園でも給食の提供ができなくて、お弁当の持参をお願いしているところでもあります。

加えて、各学童保育所へ給食を届けようとする、まず、コンテナを配送する通路の確保、配送トラックがコンテナを降ろす場所、加えて、給食を保管する配膳室の設備が整ってはじめて給食が届けられることとなります。

現状、学童保育所の施設には、必要となる場所や設備が整えられていません。また、そのような設備等を整えるには膨大な費用もかかります。そのようなことから給食センターによる給食を届けることが難しい状況です。

そこで、今回は協議して、弁当による昼食提供方法を探らせていただいたところです。

(3) 令和4年度 市内学童保育所の活動紹介について

令和4年についても、新型コロナウイルス感染症の影響下での活動となる。

但し、こども達の活動については、感染対策に取り組みながら出来る限り色々な体験や経験ができるよう工夫した。

特に

- ・施設内保育、イベントや創作活動の充実
- ・外部団体との交流（感染対策の協力の得られる団体）
- ・地域行事への参加（感染状況を踏まえ）
- ・野外活動

など、一部制約付きですが、実施しているので報告する。

委員

上田委員 交通安全教室、体験活動、夏季特別開所等の報告

西村委員 防災訓練、交通安全教室、夏季保育の報告

立田委員 春季入所式、夏季保育（いるかまつり）、冬季各イベントの報告

梶谷委員 コロナ禍での施設対応と地域との交流（コミセンとれとれ祭り）の参加報告

杉本委員 春季・夏季保育、ひまわりプロジェクト、ぎおうの里への作品展示の報告

太田委員 学習の様子から季節のイベントや活動の報告

（４） その他について

特になし

事務局 次回の日程について

日時等の詳細は会長・副会長と協議させていただき決めたい。

予定では、令和5年3月中頃を予定している。